

平成19年度採択 文部科学省

「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

自然環境診断マイスター養成

公開講演会

日時 2008.10月11日(土) 10:30~14:30

会場 信州大学 理学部 講義棟 第1講義室

入場無料・予約不要

10:30~12:00

「地質科学と自然保護」

富樫 均 長野県 環境保全研究所 主任研究員

13:00~14:30

「中部山岳国立公園南部地域の魅力と課題」

大坪 三好 環境省 松本自然環境事務所 所長

ご来場には公共交通機関をご利用下さい。

信州大学への交通：JR松本駅「お城口(東口)」を出て、右前方「エスパ」地下1階、松本バスターミナル乗

場①「信大横田循環線」又は乗場③「浅間線」に乗車し、「信州大学前」下車徒歩2分。

自然環境診断マイスター養成

平成21年4月に、春夏コースを募集予定です。

(第4コース)

詳細は、下記にお問合せ下さい。

主催 信州大学 理学部 自然環境診断マイスター養成審査委員会

お問い合わせ 信州大学 理学部 学生支援グループ マイスター担当 TEL 0263 (37) 2440

ホームページ <http://science.shinshu-u.ac.jp/~meister/>

平成 19 年度採択 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」 「自然環境診断マイスター養成」について

理学部では、自然環境の「判別・生物多様性・保全策・防災対策」の能力を養い、自然環境教育・行政・事業に対し具体的な提言のできる「自然環境診断マイスター」を育成するためのプログラムを創設しました。

対象は、環境教育・行政・事業に係る現役教職員、大学又は専門学校を卒業した社会人、大学院生、再チャレンジャー等です。

講義方法は、土・日に集中講義を開講し、基幹実習（地質、植物、動物、大気、湖沼、遺跡調査法を1泊2日のフィールドワークで実施）、特別演習（グループ学習、講師招聘）、特別講演（一般公開を実施）を行い、各教科で6割以上の評価を得てマイスター養成審査委員会にて認定された受講者には、信州大学長名で「自然環境診断マイスター」の資格が授与されます。

開講回数は4回用意され、平成19年度には秋冬コース（終了）、平成20年度には春夏コース（終了）、秋冬コース（実施中）、平成21年度には春夏コース（平成21年4月募集予定）が開設されます。

講演内容と講演者プロフィール

10:30~12:00

「地質科学と自然保護」

地質学が、私たちの普段の暮らしとどのような関わりをもっているか、そして自然保護や環境保全に対して、どのような貢献ができるのかを実例を交えながらお話ししたいと思います。

講師 富 樫 均

長野県 環境保全研究所 自然環境部 主任研究員

信州大学大学院理学研究科修了、技術士（応用理学部門）。専門は環境地質学です。1996年より、県自然保護研究所研究員となり、長野五輪の自然環境への影響や、信州の里山に関する総合研究等に取り組んでいます。

13:00~14:30

「中部山岳国立公園南部地域の魅力と課題」

地域の視点にたった自然環境の保全のあり方を考察します。

- 概要：1. 日本の国立公園の仕組み（1）国立公園の指定とその背景（2）国立公園の概念
2. 中部山岳国立公園（北アルプス）について（上高地・乗鞍・飛騨地域から）（1）その魅力（2）その課題
3. 将来に向かって

講師 大 坪 三 好

環境省 松本自然環境事務所 所長（中部山岳国立公園）

全国各地の国立公園に赴任し、北は北海道から南は九州を歩いてきました。北海道の屋根と言われる大雪山、世界自然遺産地域登録地の白神山、スキー場のメッカ志賀高原、100万ドルの夜景地神戸の六甲山、熊鷹指での南紀新宮、日本海側の大山、東シナ海に浮かぶ五島列島、世界最大級のカルデラ火山の阿蘇山などを歴任しました。